

平成28年度 第1回 滋賀県渋滞対策協議会

対策検討中箇所における交通状況

平成28年7月29日(金)

1. 対策実施・検討状況

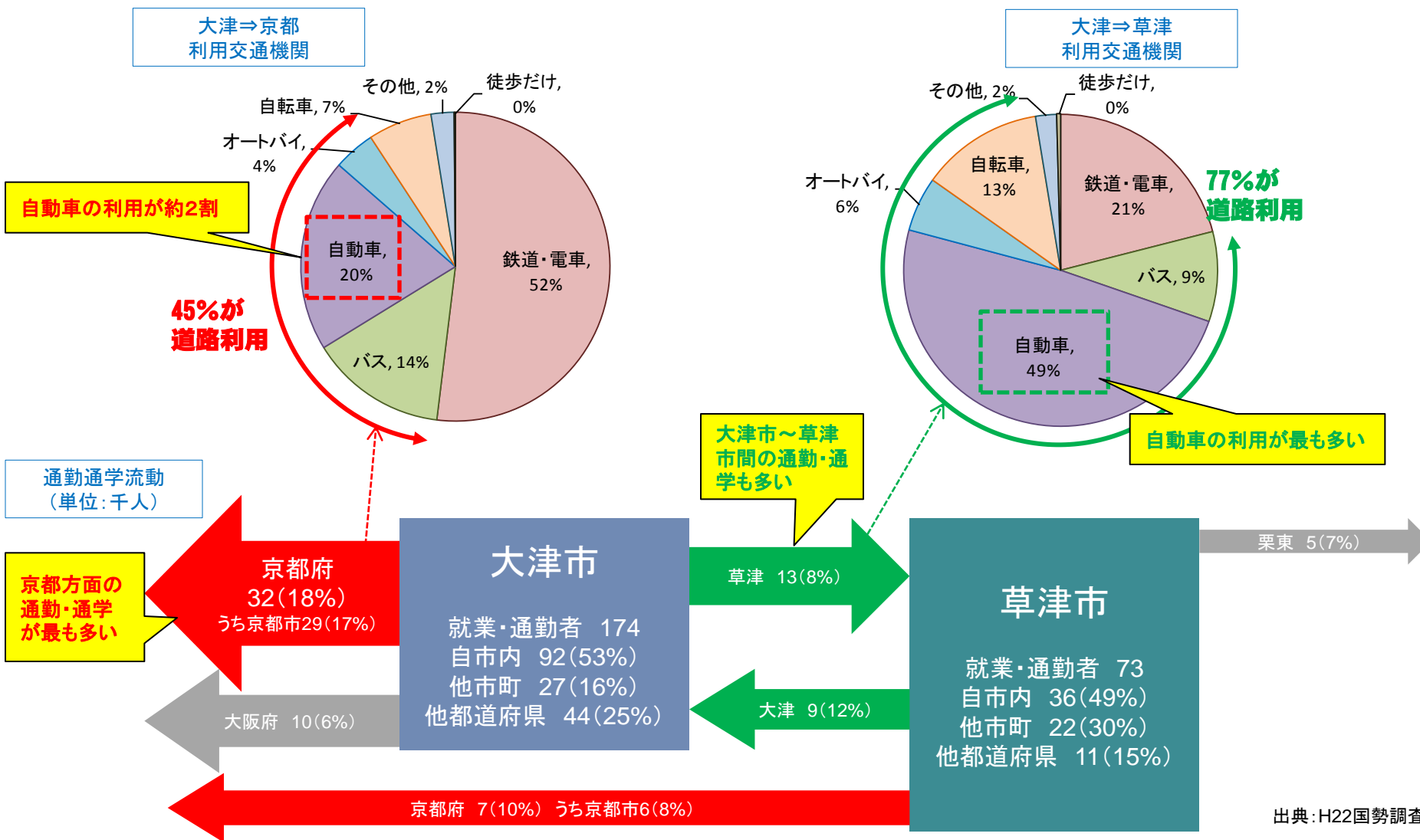
■主要渋滞箇所の対策実施状況

地域	主要渋滞 箇所数	対策状況 (箇所数)		
		事業完了	事業中	対策検討中
大津・南部	37	1	14	22
甲賀	5	0	5	0
湖東・東近江	18	0	10	8
湖北	7	1	1	5
高島	2	1	1	0
湖西	5	0	5	0
合計	74	3	36	35

2. 大津・南部地域の交通課題

(1) 通勤・通学流動

○大津市、草津市では、京都方面への通勤・通学が最も多く、約2割が自動車交通、約半数が道路利用交通。
 ○続いて、大津市～草津市間の通勤・通学が多く、約5割が自動車利用交通、約8割が道路利用交通

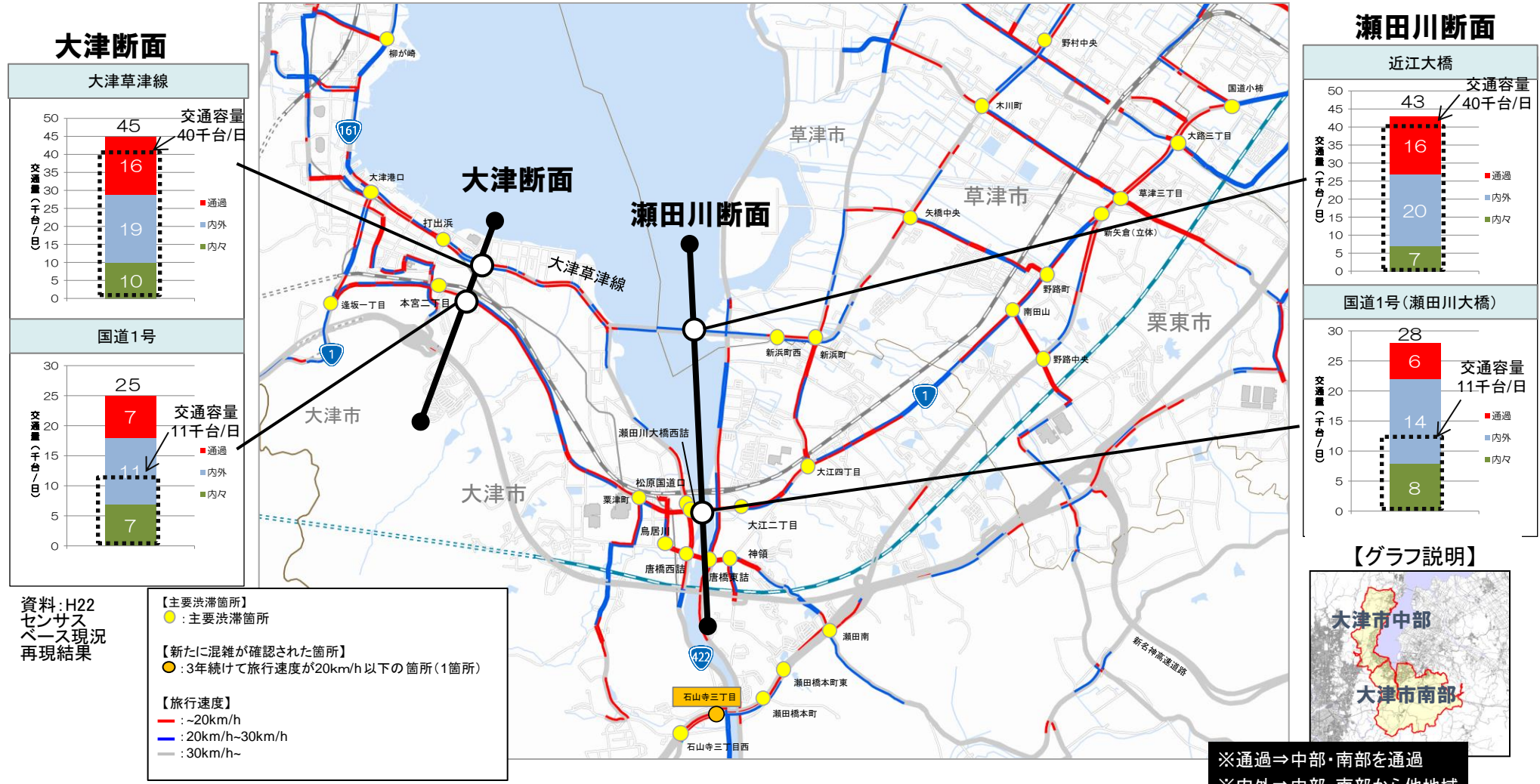


出典: H22国勢調査

2. 大津・南部地域の交通課題

(2) 交通内訳特性

○国道1号及び大津草津線では、容量を上回る交通が通行。内外・通過交通が約7割以上を占める。
 ○「内外・通過交通」と「地域内交通」の分離を図る必要がある。

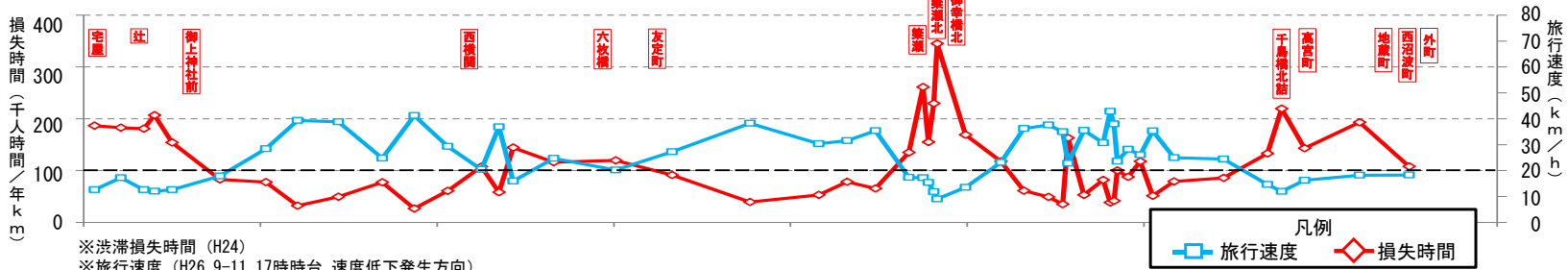
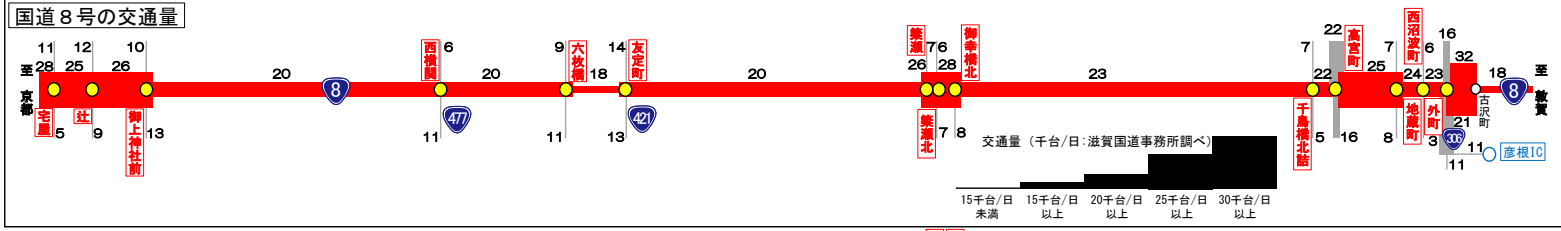


出典: 民間プロブデータ: H27年9~11月平日 平均、朝ピーク時(7~9時)、夕ピーク時(17~19時)のうちの速度が低いピーク時の旅行速度

3. 湖東・東近江地域の交通課題

(1) 湖東・東近江地域の渋滞の現状と課題

○国道8号では日常的な渋滞が発生。主要渋滞箇所が11箇所存在し、彦根市街地、愛知川渡河部に集中
 ○彦根市街地及び愛知川渡河部の交通量は、25百台/日を上回り、旅行速度が低く、渋滞損失時間が高い



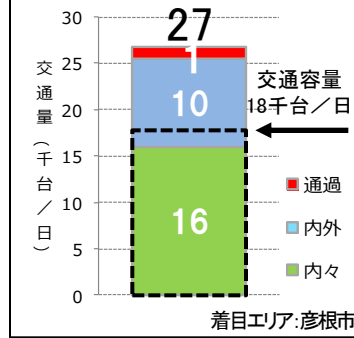
※渋滞損失時間 (H24)
 ※旅行速度 (H26. 9-11, 17時時台, 速度低下発生方向)

3. 湖東・東近江地域の交通課題

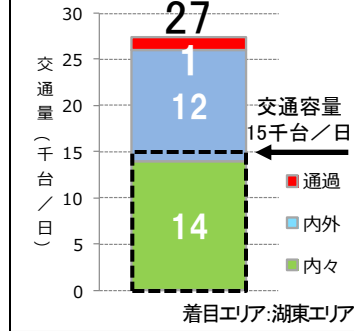
(2) 交通内訳特性

○湖東・東近江地域には、大規模な事業所が多数立地。国道8号には、物流交通や通勤等の生活交通が混在し、渋滞が発生。
 ○物流交通と生活交通の機能分担を図る必要がある。

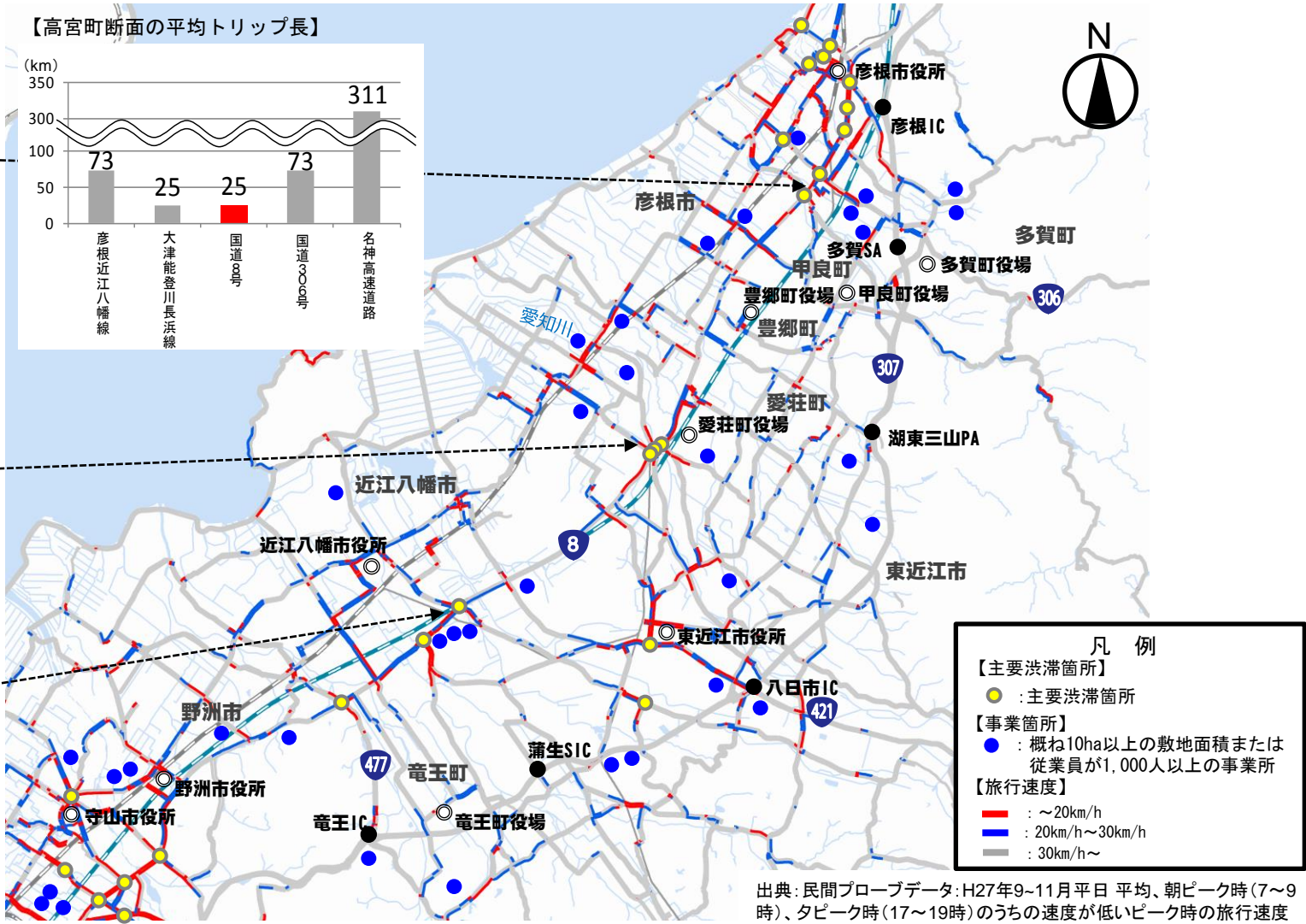
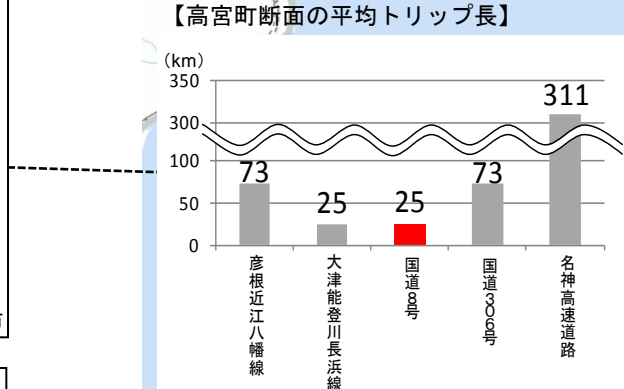
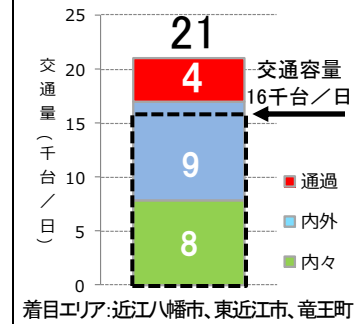
■国道8号(高宮町交差点断面)



■国道8号(愛知川断面)



■国道8号(友定町交差点断面)



凡例

- 【主要渋滞箇所】
 - : 主要渋滞箇所
- 【事業箇所】
 - : 概ね10ha以上の敷地面積または従業員が1,000人以上の事業所
- 【旅行速度】
 - 赤線 : ~20km/h
 - 青線 : 20km/h~30km/h
 - 黒線 : 30km/h~

資料: H22 センサス ベース現況再現結果

出典: 民間プローブデータ: H27年9~11月平日 平均、朝ピーク時(7~9時)、夕ピーク時(17~19時)のうちの速度が低いピーク時の旅行速度